

## （参考）図書館等最新事例

### （1）「招く・触れる」関連

#### ① 多文化サービス

（菊池市中央図書館／熊本県）

地方では少ない多文化・多言語に触れられる場や機会を提供するとともに、市内在住外国人のニーズを踏まえたサービスを提供

- ・ 多言語の絵本や語学学習教材を提供／えいごのおはなし会を開催
- ・ 在住外国人（人口の1.6%）の大半を占める技能実習生などへのアンケート結果を踏まえ、日本語教室を開催するほか、交通ルール、ゴミ出しマナー等についてやさしい日本語で情報を発信



（画像出典：菊池市生涯学習センター キクロス Facebook）

#### ② 多世代で楽しめるボードゲームの提供

（大津町立おおづ図書館／熊本県）

図書館でのレクリエーションの一環として、子どもだけでなく大人も楽しむことのできるボードゲームを提供

- ・ 約60点を貸出（1人1点まで）。貸出中のものは予約も受付
- ・ 館外利用可能なのは町内の利用登録者のみ
- ・ 点数が限られているため、館外貸出は一部のみ



（画像出典：大津町立おおづ図書館 HP）

#### ③ 予約本自動貸出返却機による時間外貸出

（大田区池上図書館／東京都）

池上駅直結の商業施設内の図書館であることに配慮して、駅利用者等に対し早朝・夜間も予約本を貸出

- ・ 7～22時に予約本の受取・返却サービスを提供（9時～21時の図書館開館時間帯にもサービス提供）
- ・ 最大収納冊数は約1,700冊

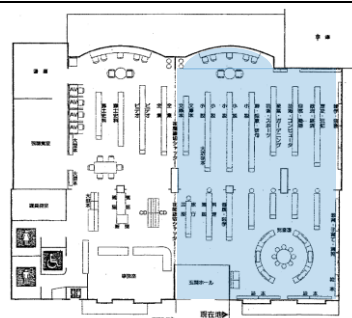


#### ④ 自動貸出機等による24時間開館

（萩市須佐図書館／山口県）

漁業関係者や町外への通勤・通学者の存在に配慮し、夜間・早朝に館内の一部を無人で開館

- ・ 18:00～明朝9:30には館内をシャッターで区切り、蔵書の約9割を配架したエリア（296㎡、右図青地部分）を開館
- ・ 蔵書はICで管理／利用者カードで入館・貸出・返却が可能



（画像出典：「情報の科学と技術」51巻7号（2001）、p369の図より抜粋）

## (2)「遊ぶ・学ぶ」関連

### ① 独立した子ども図書館の設置—1

(滑川市立図書館／富山県)

市立図書館の児童コーナーのみを約150m離れた市民交流プラザへ移転し、子育て層や子どもが気軽に集い交流できる場と位置づけ

- ・ 開架スペースのほか、未就学児向けのおもちゃや絵本を備えたにこにこひろばや、子育て本を備えたふれあいひろば、コミックを備えたこうりゅうひろば、工作ワークショップも可能な学習室、保育士が対応する相談室など、子どもの発達に応じた多様なスペースを提供



(画像出典:滑川市立図書館HP、滑川市民交流プラザHP)

### ② 独立した子ども図書館の設置—2

(柏市立こども図書館／千葉県)

子どもの読書推進および子育て支援の充実を図るため、0歳から就学前の乳幼児とその保護者を対象とした図書館を設置

- ・ 絵本、育児書、育児雑誌など約3万冊を所蔵
- ・ おはなし会をほぼ毎日開催するほか、市の子育て関連部署や保健所と連携し、講座開催や情報コーナーの設置などを通じて子育てや親子の健康に関する情報を提供
- ・ 分庁舎の1階にあり、最も近い沼南分館との距離は約280m



(画像出典:柏市子育て情報はぐはぐ柏HP)

### ③ 絵本図書館の設置

(いたばしポローニャ絵本館／東京都)

区と親交の深い北イタリア・ポローニャの「ポローニャ児童図書展」事務局による絵本寄贈をきっかけとして設置

- ・ 当初単館として開館したのち、2021年中央図書館に併設移転
- ・ 寄贈絵本を中心に、世界100か国、3万冊、70言語の絵本を展示



(画像出典:いたばしポローニャ絵本館HP)

### ④ ユニークな方法による本の魅力の発信

(こども本の森 中之島／大阪府)

絵本や児童書の映像化や小説の本文抜粋の展示などを通じて、物語や本の魅力を発信

- ・ 「魔女の宅急便」「星の王子さま」といった名作児童書などのワンシーンを円筒形の空間にプロジェクションマッピングで展開
- ・ 物語に没入できる空間であることの表現として、図書本文の抜粋をスタイロフォームで展示



### ⑤ ビジネス支援サービス

(札幌市図書情報館／北海道)

都心部に立地する地域性を考慮し、周辺機関と連携しながら起業家や中小企業などを対象とするサービスを提供

- ・ 専門機関(中小企業支援センター、日本政策金融公庫など)によるビジネス相談窓口を設け、予約制のコワーキングスペース(47席)、ミーティングルーム(2部屋)なども提供
- ・ ビジネス支援資料(蔵書約4万冊のうち、1.5万冊)は半径1.5km圏内に立地する県内の企業へのアンケート結果を踏まえ選定



### (3)「調べる・学びなおす」 関連

#### ① デジタルアーカイブシステムによる貴重資料の公開 (町田市／東京都)

保存・供覧に注意が必要な文化財や貴重資料等を Web 上で公開し、建物や遺跡等は 3D で見られる仕組みを構築

- ・ 2,000 点以上の考古・歴史・民俗資料を掲載。一部3D も含む
- ・ 各時代の年表やキーワードから関連資料を、地図から市内の史跡・遺跡やそこでの出土品などを辿ることも可能



#### ② 地域の自然をイメージした空間の提供 (大阪府立中央図書館／大阪府)

より快適な閲覧空間を提供する取組みの一環として、自然を身近に感じられるビオトープ(自然循環型水槽)などを展示

- ・ 府の花であるサクラソウなどの香りや自然の環境音が体感できる、大阪の四季をイメージしたエリアを1Fホールに整備し、ビオトープも同エリアに設置。自然循環型水槽のため掃除・水替え不要



#### ③ デジタルサイネージでの地域に関するコンテンツの展開 (安城市アンフォーレ／愛知県)

交流空間やフリースペースとして利用可能な1階エントランスホールに大小複数のデジタルサイネージを設置し、地域情報や地元文化にちなんだコンテンツを展開

- ・ イベント情報や天気情報、市内観光名所などの地域情報の発信
- ・ 安城七夕まつりで飾られた「ねがいごと」に関連する図書の紹介
- ・ 市民から投稿されたニュースやイベント情報の周知 などを実施



#### ④ 共通テーマに沿った事業企画 (大和市シリウス／神奈川県)

図書館、ホール、生涯学習センターなどを含む複合施設であり、全体融合を図る事業の1つとして、共通テーマに沿った企画を同時開催

- ・ 施設全体で「知る喜びと五感の目覚め」「新元号・令和」「防災」などの共通テーマを毎年5つ程度設定
- ・ テーマに沿った展示・講座・イベントなどを各施設が同時に開催



#### ⑤ 市民学習センターの活動と連携した資料配架 (野々市市学びの杜のいちカレード／石川県)

市民学習センターとの複合施設で、市民活動に関連する資料を施設内のスタジオや研修室付近に配架

- ・ 料理・創作・音楽スタジオなどの諸室を図書館各所に分散配置し、関連資料を近接させることで資料活用を促進
- ・ 図書館利用者からの市民活動のほどよい見える化も企図



### ⑥ 一体的なサポーターズクラブの組成

(東根市公益文化施設まなびあテラス／山形県)

図書館・美術館・市民活動支援センターからなる複合施設全体で一体的にサポーターズクラブを設置

- ・ サポーターは、図書館では本の整理、美術館では運営補助、市民活動支援センターではワークショップの補助等を実施
- ・ 特典として有料展示会に無料で招待



### ⑦ 美術館と一体的な事業企画

(太田市美術館・図書館／群馬県)

美術館を含む複合施設内で、本と美術の関わりをテーマに企画展等を継続的に開催

- ・ 画家、作家、詩人などの共同制作作品展や、絵本の原画展などを施設全体で開催
- ・ 関連書籍や出展作家の推薦図書等も展示



(画像出典: 太田市美術館・図書館 HP)

### ⑧ ボランティアとの連携

(瀬戸内市民図書館／岡山県)

図書館整備に参画した市民が中心となり結成された図書館友の会「もみわフレンズ」が開催するイベントに協力・連携

- ・ もみわフレンズが企画する講座、演奏会、寄席等のイベントへの協力や共同企画「もみわ祭」を開催
- ・ 「もみわ」は瀬戸内市民図書館の基本理念である「もちより・みつけ・わけあう広場」の頭文字



(画像出典: もみわフレンズ Facebook)

### ⑨ 市内団体や出版社などとの連携

(東久留米市立図書館／東京都)

図書館の可能性を知り、一緒に楽しみ、考えながら、次代の図書館像を探っていくことを目的とした図書館フェス企画として「ひとハコ図書館」を毎年実施

- ・ 小さな箱を図書館に見立て、市民・市内団体・出版社などがその「館長」として、自由なテーマで選書した図書や自身の活動内容、市立図書館に望むことなどを紹介



(画像出典: 東久留米市立図書館 HP)

## (4)「伝える・届ける」関連

### ①メタデータを活用した統合検索機能の提供 (大阪市立図書館／大阪府)

所蔵する図書、電子書籍、データベース、デジタルアーカイブのほか、有用なWEBサイト等を一括検索可能な機能を提供

- ・ 商用データベースは館内利用時のみ。契約データベース16種のうちジャパンレッジ、毎索など5種が対象(2022年4月時点)
- ・ NDLサーチやCiNii ResearchなどのWebサイト、大阪府立図書館、大阪公立大学図書館の所蔵資料も一括検索可能



### ②バーチャル書架の公開 (東京学芸大学／東京都)

コロナ禍の中でも実際の来館利用に近い感覚で本を探せるよう、実際の書架の撮影画像をWeb上でバーチャルで展開

- ・ 図書館2階閲覧室の書架が対象(雑誌書架や閉架などは対象外)
- ・ 3D表示のほか、個別の書架画像も閲覧可能
- ・ バーチャル書架上でズームすると画面内の図書のリストが表示され、クリックすると各図書の情報(OPAC)にアクセスできる



### ③オンラインイベントの開催 (海老名市立中央図書館／神奈川県)

コロナ禍をきっかけに、来館せずとも市民が参加できるようZOOMを使ったイベントを開催

- ・ 令和2年9月に開始、約半年で20回以上開催(令和2年度実績)
- ・ 子どもや親子向けの読み聞かせ、ベビーヨガ、リトミック、英語教室、大人向けのトークイベントなどを不定期で開催



(画像出典:海老名市立中央図書館 HP)

### ④店舗との連携 (大和市立中央林間図書館／神奈川県)

図書館が同じ商業施設内の星乃珈琲店と連携し、蔵書の一部を隣接する同店舗に配架するなど一体的なサービスを提供

- ・ 貸出処理を行う前の資料を店内に持ち込み可能
- ・ 店内には店舗のイメージに合わせて司書が選書した本を置き、その本も図書館で貸出可能
- ・ 店舗で購入したドリンクは図書館内への持ち込みが可能



### ⑤ 公募にもとづくネーミング

- (長崎県・大村市 ミライon／長崎県)
- (三条市 図書館等複合施設まちやま／新潟県)
- (泉大津市立図書館シープラ／大阪府)
- (茨木市 おにクル／大阪府)
- (佐倉市 夢咲くら館／千葉県)
- (牧之原市 図書交流館いこっと／静岡県)



(画像出典:茨木市 HP)

- ・ 長崎県・大村市:全国公募で寄せられた候補から、愛称選考委員会が選定
- ・ 三 条 市:全国公募で寄せられた候補から、愛称選考委員会が選定。選定された案の提案者には賞金30万円を授与
- ・ 泉大津市:市内公募で寄せられた候補から市が最終3案に絞り込み、市民投票を経て決定
- ・ 茨 木 市:市内公募で寄せられた候補から市が最終14案に絞り込み、市民投票を実施。投票結果と有識者の意見を踏まえて市長が決定
- ・ 佐 倉 市:全国公募で寄せられた候補から市が最終3案に絞り込み、地元小中学生による投票を経て決定
- ・ 牧之原市:全国公募で寄せられた候補から、一次選考(教育委員会事務局(※選定者、以下同))、二次選考(図書館協議会委員)、最終選考(市長・副市長・教育長・教育文化長)の3段階を経て決定